



株式会社 ナックイメージテクノロジー
CREATIVE 制作営業部
2026 年 7 月 7 日 T26002

ALEXA 35 SUP 6.1.0

ALEXA 35 | ALEXA 35 Live | ALEXA 35 Xtreme | ALEXA 265

ソフトウェア・アップグレード・パッケージ SUP 6.1.0

リリースノート 日本語版

2026 年 7 月 7 日

Document ID: D45 10006706

Release: K11784

和訳・追記

株式会社 ナックイメージテクノロジー

営業本部 制作営業部

〒107-0061

東京都港区北青山 2-11-3

03-3976-7901

法的注意事項

© 2026 Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KG. All rights reserved.

本システムは、Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KG の所有情報を含んでいます。このシステムは、使用と開示に関する制限を含むライセンス契約に基づいて提供され、著作権法により保護されています。ソフトウェアのリバースエンジニアリングは禁止されています。

本文書のいかなる部分も、Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KG.の書面による事前の許可なく、いかなる形式・手段によっても、配布、複製、送信、転写、データ検索システムへの保存、いかなる言語への翻訳を行うことはできません。

個人利用を目的として ARRI のウェブサイトからファイルをダウンロードする場合は、最新版を確認してください。

技術情報は予告なく変更される可能性があり、ARRI はダウンロードされたファイルに関して一切の責任を負いません。

製品開発の継続により、本書に記載されている情報は予告なく変更されることがあります。本文書に含まれる情報および知的財産は、ARRI と顧客との間の機密事項であり、ARRI が独占的に所有するものです。本文書に問題がある場合は、書面でご報告ください。

株式会社 ナックイメージテクノロジーによる和訳版です。

概要

ARRI より下記 ALEXA シリーズ最新ソフトウェアアップデート SUP 6.1.0 がリリースされました。

対象機種

- ALEXA 35
- ALEXA 35 Xtreme
- ALEXA Live
- ALEXA 265

ARRI では、本バージョンへのアップデートを推奨しています。ただし、撮影期間中や本番運用中のシステムへのアップデートは避け、事前検証のうえ実施されることを推奨します。

新機能

- ハイフレームレート SDI 出力
- GPS メタデータ記録機能
- ピクチャー・イン・ピクチャー (PiP) トラッキングズーム
- SDI タリー表示機能
- Genlock 同期機能の拡張

アップデート

このソフトウェアは、ALEXA 35 Xtreme、ALEXA 35、ALEXA 35 Live にインストール可能です。以前の ALEXA 35 SUP がインストールされているカメラはアップデートすることを推奨します。

撮影中のアップデートは推奨しません。 アップデートやカメラの操作を行う前に、アップデート手順の詳細や既知の問題が記載された本リリースノートをご一読ください。

周辺機器のアップデート

SUP 6.1.0 には以下の周辺機器のソフトウェアおよびファームウェアが含まれています。

以前のリリースから変更があった部分は**太字**で表記されています。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| • LPL マウント (LBUS) | 1.62 |
| • PL マウント (LBUS) | 1.115 |
| • PL マウント (ヒロセ) | 1.117 |
| • EF マウント (LBUS) | 1.14 |
| • Multi Viewfinder MVF-2 | 3.62 |
| • カメラアクセスプロトコル (CAP) | 1.18.0 |
| • MXF ライブラリー | 4.4.9 |

ソフトウェアの互換性

以下のソフトウェアバージョンのツールやアクセサリが、SUP6.1.0 と完全な互換性を持っています。

- ARRI Reference Tool 1.8.1
- Camera Control Monitor CCM-1 5.5.2
- Audio Extension Module AEM-1 V1.1G
- Live Production System LPS-1 **1.4.1**
- CODEX Device Manager 7.6.2
- DaVinci Resolve Studio 20.2

ALEXA 35 Workflow ページで、サードパーティ製ソフトウェアの一覧および ALEXA 35 との互換性をご覧ください。
サードパーティ製ソフトウェアは、常に最新バージョンでご利用ください。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/alex-a-35-workflows>

レジストレーション

ALEXA 35 Xtreme、ALEXA 35、ALEXA 35 Live のオンラインカスタマーレジストレーションをまだ行っていない場合、下記の URL からお持ちのカメラをご登録してください。今後、ソフトウェアアップデートなどの最新情報を速やかにお送りいたします。また、ご購入後 1 ヶ月以内にご登録いただければ、1 年間の延長保証が無料で受けられます。

<http://www.arri.com/productregistration>

サンプルフッター

ALEXA 35 カメラで撮影されたサンプルフッターは下記の URL からダウンロードできます。

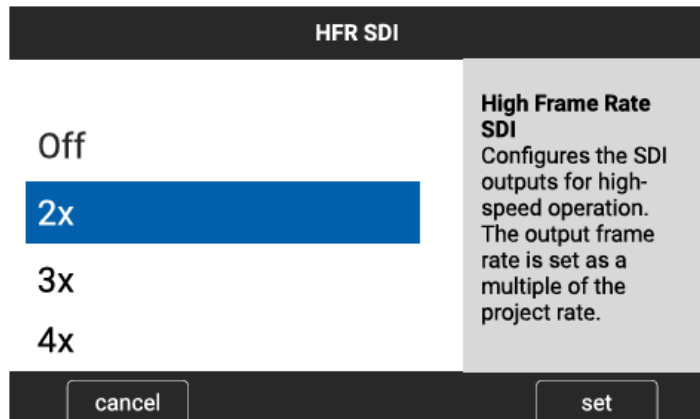
<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/camera-sample-footage-reference-image>

新機能

High Frame Rate SDI (HFR SDI) ※ALEXA35 Xtreme 向け機能

SUP 6.1.0 では、新たに High Frame Rate SDI (HFR SDI) 機能が追加されました。

ALEXA 35 Xtreme は、搭載する 2 系統の 12G-SDI 出力を活用し、ハイフレームレート映像の出力に対応します。



対応フレームレート

- UHD 出力 : 最大 120fps
- HD 出力 : 最大 480fps

設定している Sensor Mode および撮影フレームレートに応じて、HFR SDI 出力には以下が使用されます。

- SDI 1 のみ
- SDI 1 + SDI 2 (デュアル出力)

対応機種

本機能は以下の機種でのみ利用可能です。

- ALEXA 35 Xtreme
- ALEXA 35 Live Xtreme
- ALEXA 35 Live (2026 年以降モデルの Xtreme)

ご利用に必要なライセンス

HFR SDI 機能を使用するには、以下 2 つのライセンスが必要です。

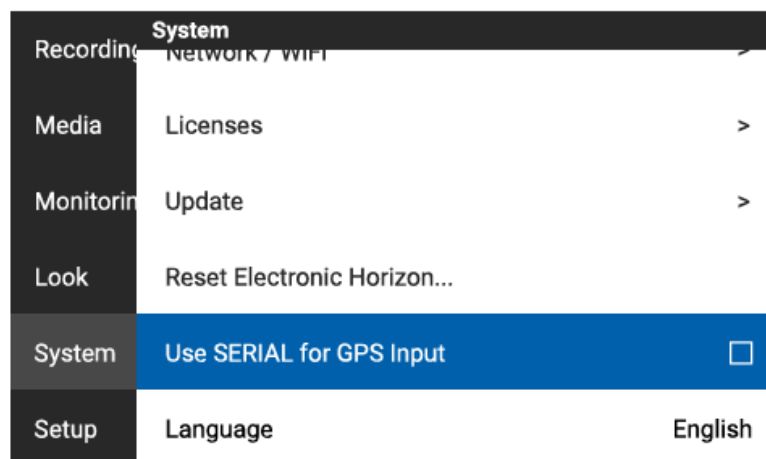
- High Frame Rate SDI License
- High Speed License

※ALEXA35 Premium ライセンス、ALEXA35 Xtreme Premium ライセンスをご購入のお客様は上記 2 種ライセンスが含まれております。

※ALEXA35 Base をご購入のお客様はライセンスが含まれているかご確認ください。

GPS Metadata※各 ALEXA シリーズ向け機能

SUP 6.1.0 では、カメラの SERIAL コネクターを距離測定デバイスではなく、GPS モジュール接続用として使用できるようになりました。



GPS モジュールから取得した位置情報はカメラへ送信され、記録されるすべての映像フレームにダイナミックメタデータとして埋め込まれます。

記録される GPS 情報

- 緯度 (Latitude)
- 経度 (Longitude)
- 標高 (Altitude)

これにより、撮影時の位置情報を収録データとともに記録できるようになります。

対応 GPS モジュールの要件

接続する GPS モジュールは、以下の条件を満たす必要があります。

- NMEA 0183 Version 2.0 対応
- 以下の NMEA センテンスを出力可能
- GGA
- GSA
- GSV
- True RS232 通信対応 (RS232-TTL は非対応)
- 通信速度 : 4800bps

Picture-in-Picture Tracking Zoom※ALEXA35 Xtreme 向け機能

SUP 6.1.0 では、新たに Picture-in-Picture (PiP) Tracking Zoom 機能が追加されました。

本機能は従来の Tracking Zoom と同様に、選択した人物を自動で追尾し、常に画面中央付近に維持することで、フォーカス確認やピントチェックを容易にします。



従来の Tracking Zoom ではライブ映像全体が拡大表示に切り替わりますが、PiP Tracking Zoom ではライブ映像全体を表示したまま、被写体周辺の拡大映像を子画面 (Picture-in-Picture) として重ねて表示します。これにより、構図全体を確認しながら、被写体のピント状態をより詳細に確認することが可能です。

SDI Tally Overlay (マルチステート・タリー表示) ※Multicam ライセンス搭載カメラ向け機能

SUP 6.1.0 では、SDI 出力映像上にタリー情報をオーバーレイ表示できる「SDI Tally Overlay」機能が追加されました。

本機能により、カメラの SDI 出力 2 系統に対して、複数の状態を識別できるタリー表示 (Multi-State Tally) を重ねて表示することが可能です。

特に、モニタリングやフレーミングを SDI 出力のモニターで行うステディカム運用において有効で、オペレーターはモニター映像を見ながらリアルタイムでタリー状態を確認できます。

	Multicam	Tally Settings	
Recording	Enable Li	LPM-1/TLM-1 Tally Brightness	3
Media	Tally Sett	LPM-1/TLM-1 ID Brightness	3
Monitoring	Restrict L	VF Tally Overlay	☐
Image		SDI 1 Tally Overlay	☐
Multicam		SDI 2 Tally Overlay	☐
System		Talent Tally Green Preview	

Extended Genlock Support※各 ALEXA シリーズ向け機能

SUP 6.1.0 では、Genlock 同期時のフレームレート対応範囲が大幅に拡張されました。

従来は、カメラが Genlock 信号に同期するためには、

カメラのフレームレートと Genlock 信号のフレームレートが完全に一致している

カメラのフレームレートが Genlock 信号の 2 倍である必要がありました。

今回のアップデートにより、カメラ内部の同期機能が強化され、外部 Genlock 信号の最大 8 倍のフレームレートまで同期できるようになりました。

アップデート手順

カメラのアップデートは、アップデートファイルが USB-C メディアに入っている状態で、MVF-2 のメニューまたは Web Remote から開始できます。MVF-2 やレンズマウントがカメラに装着されている場合、カメラと同時に自動的にアップデートされます。装着されていない場合も、カメラ経由で後からアップデートできます。Web Remote からアップデートを行う場合、予期せぬ動作や問題を避けるため、ブラウザーをシークレットモードにしてください。

1. Software Update Packages for Cameras ページからアップデートファイルをダウンロードしたら、.zip ファイルをダブルクリックするか、手動で解凍してください。*.SWU と *.lic という 2 つのアップデートファイルがコンピュータに展開されます。

<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/software-and-firmware-updates-for-cameras>

2. USB-C メモリースティックを ALEXA 35 に接続し、MVF-2 メニューまたは Web Remote から *MENU > Media > Prepare USB Medium...* を選択し、CONFIRM を押してください。USB スティック内に必要なフォルダー構造が生成されます。
3. USB-C メモリースティックをコンピュータに接続します。

ALEXA 35/Live/Xtreme :

*.swu ファイルを *ARRI/ALEXA35/SUP* フォルダーに配置します。

*.lic ファイルを *ARRI/ALEXA35/LICENSES* フォルダーに配置します。

4. SUP にはカメラボディだけではなく、MVF-2 やレンズマウント用のアップデートファイルが含まれています。そのため、アップデート中に、MVF-2 やレンズマウントがカメラに装着されていることを確認してください。
5. アップデート中に電源が切れないよう、カメラを安定電源またはフル充電されたバッテリーに接続してください。
6. *MENU > Setup > Factory Reset...* からファクトリーリセットを行います。
7. USB-C メモリースティックをカメラに接続し、*MENU > System > Update > Update Camera...* を選択します。
8. リストから SUP ファイルを選択し、インストールを開始します。

MVF-2 とサイドディスプレイがアップデート状況を示す画面に変わります。アップデートは最大 20 分ほどかかることがあります。

アップデート中に MVF-2 の電源が切れてアップデート状況が見えなくなることがあります。この場合、カメラのサイドディスプレイを確認してください。

カメラが再起動するまでオフにしたり電源を取り外さないでください。

アップデート終了後、成功のメッセージが表示されます。アップデートは最大 20 分ほどかかることがあります。

9. *MENU > System > System Time & Date* で正しいタイムゾーンを選択してください。
10. アップデート時にカメラに MVF-2 やレンズマウントが接続されていなかった場合、それらのデバイス用のソフトウェアがカメラに保存されます。これらのデバイスが次にカメラに接続されたときにソフトウェアが古ければ、カメラがアップデートを提案します。

稀に、アップデートの阻害や失敗、重大なカメラエラーが発生した場合、MVF-2 が反応しなくなることがあります。この場合、サイドディスプレイで Wi-Fi を ON にし、Web Remote 経由で再度アップデートしてください。

アクセサリーのアップデート

下記デバイスのアップデートはカメラのアップデートファイルには含まれていないため、個別に行う必要があります。ARRI Software Packages ページから、それぞれのアップデートファイルをダウンロードしてください。

<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/overview-of-all-current-software-update-packages>

Camera Control Monitor CCM-1 :

ダウンロードしたアップデートファイルを、USB-C メモリースティックのルートフォルダーにコピーし、CCM-1 に接続します。CCM-1 をカメラから取り外し、*Menu > Firmware > Update* でファイルを選択し、アップデートを開始します。

Audio Extension Module AEM-1 :

ダウンロードしたアップデートファイルを、USB-C メモリースティックのルートフォルダーにコピーし、AEM-1 に接続します。AEM-1 の *MENU > SETUP > UPDATE* を選択し、YES を押してアップデートを開始します。

LBUS デバイス (レンズモータなど) :

ダウンロードしたアップデートファイルを、USB-C メモリースティックの *ARRI/ECS* フォルダーにコピーし、カメラに接続します。LBUS コネクタに LBUS デバイスを接続した状態で、*MENU > System > Update > Update LBUS Devices* からアップデートを開始します。

Live Production System LPS-1 :

LPS-1 システムをアップデートするには、LPS-1 の RJ45 管理ポートにコンピュータをイーサネット接続する必要があります。アップデート手順の詳細は、Live Production System LPS-1 の最新のリリースノートを参照してください。

カメラのダウンデート

- ALEXA 35 カメラを以前のバージョンにダウンデートすることは可能です。
- ALEXA 35 Live は SUP 2.0.0 よりも前のバージョンには対応していません。
- ALEXA 265 は SUP 3.0.3 より前のバージョンには対応していません。

また、ALEXA 265 を SUP 3.0.3 にダウンデートする場合は、以下の手順が必要です。

- 現在のバージョンから SUP 3.0.4 にダウンデート
- SUP 3.0.4 から SUP 3.0.3 にダウンデート

ダウンデート時の注意事項

ダウンデートを実施する際は、使用する USB-C メディア内に以下の必要ファイルをあらかじめ保存しておいてください。

- 対象となる SUP (Software Update Package)
- 必要なライセンスファイル

既知の問題

HFR SDI 使用時の Playback について

High Frame Rate SDI (HFR SDI) モード使用中に、カメラ内部の Playback 機能でクリップ再生を行うと、SDI 出力のフレーム構成 (Frame Packaging) が再生クリップのフレーム構成と一致しない場合があります。

その結果、接続先の機器において以下のような現象が発生する可能性があります。

- フレーム順序が正しく処理されない可能性があります。
- 映像タイミングにわずかなずれやジャンプが発生する可能性があります
- 接続先のスイッチャーや収録機器によっては、映像の動きが不自然になったり、一時的なフレーム欠落やタイミングのずれが発生する場合があります。

このため、ARRI では HFR SDI モードでの Playback 機能の使用を推奨していません。

特に、SDI 出力を本番系統として使用する以下のような環境では注意が必要です。

- ライブプロダクション
- 放送・中継システム
- オンエア送出環境

カメラ再起動後のヘッドフォンの音声出力について

まれに、カメラの再起動直後に、MVF-2 のヘッドフォン端子から出力される音声は通常よりも大きくなり、一部に歪みが発生する場合があります。

この現象は、MVF-2 を一度取り外して再接続することで解消され、正常な音声出力に復帰します。

収録中にシャッター変更を行った際のアーティファクト

収録中にシャッター設定を変更した場合、記録映像に視認可能なアーティファクトが発生する可能性があります。特にフレームレートが高い場合や、シャッター角度の変更幅が大きい場合には、アーティファクトが発生する可能性が高くなります。

すでに同名のファイルがある場合、ユーザピクセルマスクのエクスポートが失敗する

USB スティック内に同じ名前のユーザピクセルマスク (UPM) ファイルがすでに存在する状態で、カメラから UPM ファイルをエクスポートしようとする、カメラの GUI が応答しなくなります。画面に "Exporting user pixel mask, please wait..." というメッセージが表示されたまま処理が完了しません。この場合、カメラを再起動してください。また、エクスポートを行う前に、USB スティック上の既存の UPM ファイルを削除するか、名前を変更してください。

Hi-5 の "Lens File Transfer Cal" でモータキャリブレーションが失敗する

Hi-5 の "Lens File Transfer Cal" 機能を使用すると、Hi-5 は接続されたカメラにレンズテーブルを送信し、自動的にモータのキャリブレーションが開始されます。この時、モータが最初のエンドストップに到達した時点で停止し、キャリブレーションが正常に完了しないことがあります。キャリブレーションを完了させるには、レンズファイルを再度送信してください。

ALEXA 35 Xtreme ではサラウンドビューエリアが広い

ALEXA 35 Xtreme の一部のセンサーモードでは、ALEXA 35/Live よりも広いサラウンドビューエリアが表示されます。

ハイレームレートでセンサーモードを切り替えると映像出力に問題が出る

カメラがハイレームレートで動作しているときに、再起動せずにセンサーモードを切り替えた場合 (4K 16:9 から 3.8K 16:9 など)、映像の出力が停止する可能性があります。この問題が発生した場合、その後の収録に影響が及ぶ恐れがあるため、カメラを再起動してください (ALEXA 35/Live)。

設定変更時の一時的な SDI 信号喪失

センサーモードの切り替えや再生モードの起動・終了など、特定の設定を変更した際に、SDI 出力が再同期を行うため、信号が一瞬途切れる場合があります。これは、ワイヤレスビデオトランスミッターなどの接続機器に影響が発生する可能性があります。この挙動については現在調査中です。

センサーオーバードライブ時、クリッピング付近でハイライト部のエッジに色がつく

クリッピングが発生する直前、画像の一部でハイライトが白のまま減衰せず、色付きのフリンジやコロナが現れることがあります。これは個別のカラーチャンネルに影響し、極端なハイライト部で顕著に現れます。

CCM-1 ではセンサーオーバードライブとハイレームレートが設定できない

現在、CCM-1 モニターからはセンサーオーバードライブの有効化や 120fps 超のフレームレートの設定はできません。

多数のユーザ設定が保存されたストレージはカメラの起動時間に影響する

接続されたユーザストレージに多数のユーザ設定が含まれている場合、カメラの起動後、Ready 状態になるまで時間がかかることがあります。この挙動については現在調査中です。

一部の ENG ズームレンズで Master Grips 経由での操作ができない

通常、ENG ズームレンズをカメラのヒコセマウントに装着した場合、Master Grips 経由で 3 軸の操作が可能です。場合によっては、一部のレンズで操作ができないことがあります。この問題を回避するには、レンズのソフトウェアまたはファームウェアのバージョンを確認し、必要に応じて最新のものにアップデートしてください。

“Hand Unit Nudge”機能は内蔵無線経由のみ

ハンドユニットがカメラ内蔵のホワイトラジオ通信以外で接続されていた場合、“Hand Unit Nudge”機能は使用できません。

12G-SDI 出力時、EOTF 信号メタデータが不正確になる

12G-SDI をビデオ出力に使用する場合、SMPTE 352 VPID メタデータストリームの EOTF (電気光学変換関数) が正しく信号化されません。

CCM-1 経由での ALEXA 265 の操作

Camera Control Monitor CCM-1 で ALEXA 265 を正しく操作するには、*MENU > System > Camera Access Protocol > Emulate ALEXA 35* をオンに設定します。

Lens Squeeze Factor を適用した際のフレームライン誤表示

3つのフレームラインを含むフレームラインファイルを使用する際に、Lens Squeeze Factor が 1.0x 以外の値に設定されていると、個々のフレームラインが正しくスケーリングされないことがあります。

カスタム LDA レンズテーブル使用時、RCP からアイリスを正しく操作できない

カスタム LDA レンズテーブルを使用しているときに、Skaarhoj RCP からアイリスを正しく操作・調整できないことがあります。

CCM-1 のタイムコードオプション

カメラのタイムコードメニューは更新されましたが、CCM-1 にはまだ実装されていません。そのため、CCM-1 から LPS-1 システムをタイムコードソースとして設定することはできません。

ユーザボタンでしかプリレコーディングが操作できない

プリレコーディングのオン/オフを切り替えるには、その機能がアサインされたユーザボタンを押すしかありません。アサインされたデバイスが手元にない場合、収録を開始し、メディアをカメラから引き抜いてください。収録の失敗に伴い、プリレコーディングが無効化されます。

再生または“Check Last Clip”後、カメラが反応しなくなる

PLAY ボタンや、“Check Last Clip”または“Playback”ユーザボタンで再生モードを終了した後、カメラが一時的に入力に反応しなくなることがあります。この症状は最大 4 秒で解消され、カメラは元の状態に戻ります。

CAP 経由でのクリップへのアクセス制限

CAP 経由で再生をする場合、メディア内でアクセスできるクリップは 270 に制限されます。それ以降のクリップを再生したい場合、MVF-2、サイドディスプレイ、Web Remote を使用してください。

CAM 経由での RIA-1 アップデートに失敗する

ALEXA 35 と RIA-1 の CAM コネクターを接続した状態で、カメラからアップデートを行うと失敗することがあります。この場合、LBUS 接続した状態でアップデートしてください。

MVF-2 OLED の映像がマゼンタに変色する

まれに、MVF-2 OLED の映像がマゼンタに変色することがあります。SDI 出力や収録映像には影響しません。

外部 LUT によりオーバーレイの彩度が低下する

外部モニタリングデバイスに適用された LUT により、カメラオーバーレイの彩度が低下し、STBY と REC の表示が区別しづらくなることがあります。MENU > MONITORING > SDI > SDI 1 PROCESSING > OVERLAYS > OVERLAY BRIGHTNESS からオーバーレイの輝度を下げること、この問題が軽減されます。

再生映像がクロッピングされる

マグニフィケーションとサラウンドビューを併用していると、クロッピングされた映像が再生されることがあります。実際に収録された映像や、収録やスタンバイ時に出力された映像より小さく表示されています。

マスターマグニフィケーション使用時、サラウンドビューにフレームラインが表示される

マスターマグニフィケーションとサラウンドビューを組み合わせて使用すると、サラウンドビューに表示されないはずのフレームラインが表示されることがあります。

一部の/i レンズのレンズスケール表示に問題がある

Cooke /i プロトコルを使用する一部のレンズで、レンズデータの通信に失敗したり、正しく表示されないことがあります。この問題を回避するには、レンズマウントを無効にし、レンズテーブルを使用してください。

再生時のヘッドフォン出力が低い

オーディオ付きのクリップを再生した場合、MVF-2 のヘッドフォン出力は収録中よりも 3dB 低くなります。

本件に関するお問い合わせ：

※ 製品の仕様、外観は予告なしに変更することがあります ※消費税は、資産譲渡時の税率を適用し加算されます

ISO 9001 認証取得



株式会社 **ナックイメージテクノロジー**
制作営業部 ダイヤルイン：03-3796-7901
<https://www.nacinc.jp>

本 社 〒107-0061 東京都港区北青山 2-11-3 : 03-3796-7900
大 阪 〒531-0072 大阪府北区豊崎 3-2-1 : 06-6359-8110
名古屋 〒464-0075 名古屋市中種区内山 3-8-10 : 052-733-7955